

活動名	団体名	彦島山中町自治会
アクティブシニア住民力による青少年育成 (自治会創立48周年記念事業)	地域	山口県下関市
	代表者	会長 酒井 能具
	支援金額	25万円
活動概要	<p>○ゴミ問題啓蒙のため「環境問題学習」活動を行った。</p> <p>○「小学生のもの作り体験」により、科学に親しむきっかけ作りができた。高齢者の豊かな経験を生かし「もの事の考え方」も伝授できた。家庭、学校では教えることが難しい生活の知恵や、挨拶教育なども高齢者から伝授している。</p> <p>○「中学生の歩道のベンチ作り体験」により、もの作り体験とともに、さらに地域のために、高齢者のためにボランティア活動したという自信を持たせることができた。</p> <p>○「青少年の地域行事への参加」活動により、青少年に地域の一員としての自覚が進んだ。以上の活動では、地域の高齢者を活動の主役とし、青少年育成と高齢者の社会参加とをペアで実現した。</p>	
活動概要	◆実施時期	◆参加人数
(1) 環境問題学習資料の内容向上	7月16日	78人
(2) 小学生の「もの作り」体験	6～11月	102人
(3) 中学生の「歩道のベンチ作り」体験	6～7月	46人
(4) 青少年の地域行事への参加	8月14日	42人
		参加総人員:268名



環境問題の学習資料の内容向上  
祭翌日のプラスチックごみ分類に保護者と参加



小学生のもの作り体験  
おじいさん達が細々教えた



中学生の歩道のベンチ作り体験  
組立て時の参加者たち  
町内5カ所にベンチ設置



青少年の地域行事への参加  
小学生が祭り時のバザーの集客を利用して  
広島県大雨災害義援金募集に活躍

#### ◆実施に伴う効果

- ①「小学生のもの作り体験」とともに、心の成長にも成果があった。  
アクティブシニアの人生経験を生かした指導により、失敗してもくじけない、順番を待つこと、手加減する事など小学生のもの作り体験とともに道徳心の成長にも成果があった。家庭、学校では教えることが難しいことなので、保護者や学校から感謝されている。
- ②「中学生の歩道のベンチ作り体験」により、もの作り体験とともに、中学生に高齢者への温かい目線を持つことや、地域のため社会貢献できたという満足感をあたえることができた。
- ③「環境問題学習資料」活動により、小学生にゴミ問題を身近に感じさせることができ、「青少年の地域行事への参加」活動により、青少年に地域の一員としての自覚が進んできた。

#### ◆苦勞した点

##### 【参加者】

地域の協力者確保が、本活動の最大のポイントです。人が集まれば、プロジェクトは半分以上成功です。ところが、肝心の児童生徒の保護者(母親が頼り)の多くが働いており、祖父母も参加しない人が殆ど。結局、地域には自分の孫がいないが、主旨に賛同して頂ける高齢者が活動の主役です。この高齢者は、日頃の地域活動を通じて、一緒に活動しようという人間関係を築いてきた人たちです。

##### 【予算】

高齢住民が多いため、自治会会費は20年据え置きで、苦しい自治会予算から青少年育成の新しい活動の費用を出すことが難しい状況です。このため、本助成金が活動のエネルギー源となっています。是非、続けてご支援願います。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

前述したように活動の主役は地域のアクティブシニア(65～80才台)です。地域の理解と支援により活動が継続しています。

私たちの青少年育成活動は、小学校・中学校でのコミュニティ・スクール活動\*に反映しつつあります。青少年育成問題について、学校や保護者を外から批判するより自らも育成に参加し、地域全体で子育てすることがきっかけとなり、町全体の活力が向上することを期待しています。

(※ 公立学校の運営や改革につき、地域住民が積極的に関わり、運営の一部に参加する活動)

#### ◆活動を終えての感想・意見等

毎日のように青少年問題がニュースとなっています。又、中国など急速に成長しているアジアの後進国における青少年の目の輝きが日本の青少年に見られないように思います。

このような状況を少しでも改善するには、人口も、時間も、経験も沢山有している高齢者の活用が不可欠だと思います。高齢者側も介護対象ではなく、社会参加により本来の役割を果たすことにより生きがいを感じることができます。高齢者の社会参加においては、地域における先輩でもある参加者の人間としての尊厳を大事にしなが、個人の性格、経験やグループ活動するときの人間関係等を配慮する必要がありますので、地域活動をしている自治会が適していると考えます。このように、青少年育成と高齢者の社会参加をペアで考え活動しています。